第2回「令和7年度大阪の未来社会を支える若者・企業応援事業」に 係る大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1. 日時及び場所

日時: 令和7年3月26日(水曜日)10時30分から12時10分

場所:エル・おおさか本館10階 会議室

2. 審查方法

審査基準(企画提案公募要領に記載)に基づき、大阪府にて企画提案公募参加資格の確認を行った。 選定委員会では、資格適合者について書類審査及びプレゼンテーション審査を実施し、3名の選定委員 が提案内容について採点した。各委員の採点結果に基づき選定委員が合議を行い、最終評価点を決定し、 最終評価点が採択の基準となる60点を上回る提案者を最優秀提案者として選定した。

3. 議事概要

①審査方法等の確認

≪提案状況≫

〇提案事業者:1事業者

若者 • 企業応援事業共同企業体(代表構成員: 一般財団法人大阪労働協会)

≪審査方法の確認≫

- ○書類審査
 - ・企画提案内容についての書類審査
- ○プレゼンテーション審査
 - ・提案内容について、提案者が20分間のプレゼンテーションを実施。
 - その後、選定委員による質疑を実施。

≪採択基準の確認≫

- 総合評価点が 100 点満点のうち 60 点に満たない場合は採択しない旨を確認。
- 提案内容が、業務目標を下回っていない旨を確認。

※業務目標:①新卒採用等、若者の採用強化に取組む(取組む予定)の企業数 300 社 ②府内企業に就職した学生の数 360 人

②審査及び質疑応答

書類審査(5分)、プレゼンテーション審査(20分)、質疑応答(15分)を実施

【字な質問内容】

- 令和 6 年度に受託された本事業の前身事業である持続可能な大阪の成長を支えるダイバーシティ推進事業の状況や課題等を踏まえ、令和7年度の本事業にて特出する予定の内容は何か。
- 具体的なコーディネーターの役割はどのように考えているか。
- 大学間の課題認識の差などを踏まえたアプローチ方法はどのように考えているか。
- ・学生や企業等の個人情報についてどのように取り扱う予定か。
- DX 兼務人材育成セミナーについて、セミナーを受講してもすぐに DX 兼務人材になり得るとは考え づらい。学生によって習得状況等も異なる中、どのようなサポートを考えているか。
- ・ 府外大学の学生で、大阪府出身者や大阪府への就職を考えている者に対してはどのようなアプローチを考えているか。

③採点及び最優秀提案者の選定

書類審査及びプレゼンテーション審査を踏まえ、各委員が提案内容について採点を実施した。各委員の 採点結果を基に、合議制により総合評価点を以下のとおり決定した。

≪評価点内訳及び提案金額≫

| 最優秀提案事業者 | 総合評価点(100点満点) | 評価点内訳 | | 坦安心药 | |
|--------------------|---------------|----------------|------------------|--------------|--|
| | | 企画提案部分(85 点満点) | 価格点等 (15 点満点) | 提案金額 (税込) | |
| 若者·企業応援事業共同 企業体 | 75.3 点 | 65.3 点 | 10.0点 | 29,796,000円 | |

④選定理由

書類審査及びプレゼンテーション審査の結果を踏まえて、各提案事業者の提案について選定委員が 総合評価を行ったところ、基準(60点)を超える総合評価点を獲得していた。また、若者・企業応援事 業共同企業体の提案内容は大阪府の事業趣旨をくみ取った提案であり、十分な経験と実績を有していた。 以上のことから、若者・企業応援事業共同企業体を最優秀提案者として決定するものである。

【その他、委員の主な意見】

- ・具体的な提案を求めている審査項目に対して、一部具体性に欠ける提案があったが、質疑応答において は前身事業の課題等を踏まえた説得力ある説明があった。
- コーディネーターによる伴走支援の実現可能性について少し懐疑的であったので、実際に提案内容を実 行できるよう努めていただきたい。
- ・定着支援も重要であるため、内定獲得後の定着につなげる仕掛けづくりにも期待したい。
- ・学生や、大学・企業の現場に寄り添った姿勢が見えた。大阪の地域社会をつくる学生は関西圏や全国にいるので、より多くの学生への情報発信等も重要であると考える。

4. 選定委員会委員(敬称略•五十音順)

| 所属•職名等 | 氏 名 | 選任理由 |
|-----------------------|-------|---|
| 一般社団法人 大阪府中小企業診断協会 | 中井 勝博 | 中小企業の経営に精通しており、中小企業の人 材確保における課題や、人材不足が経営に与え る影響についても造詣が深く、企業側の視点で 業務の実効性の観点を中心に審査。 |
| 大阪弁護士会 | 永井 秀人 | 法律の専門家として、情報保護やコンプライアンス、公正性・公平性の観点を中心に審査。 |
| 京都大学 准教授 | 村田淳 | 発達障がい傾向のある学生の就職支援について 専門性を有しており、学生全般の就職活動につ いても知見を有することから、学生の思考等を 理解し、マッチングの促進が図られる提案内容 となっているか等を中心に審査。 |